

部報

平成 31 年～令和元年 No. 63

北海道大学馬術部



目次

活動報告	1
戦績	
会計	
調教報告	8
北騏号	
北鷹号	
北響号	
北汐号	
北稜号	
北暁号	
北琉号	
北陽号	
北水報告	16
卒部にあたって	18
現役名簿	22
編集後記	23

活動報告

戦績

第47回 半澤杯記念馬術大会
於：北海道大学 4/29`30

総合馬術課目複合馬術競技（太秦杯）
ワンスター馬場馬術課目

			最終得点率	
1位	山田杏里	駿龍	酪農学園大学	55.724
2位	山川智大	北曉	北海道大学(4)	54.999
3位	上村聡介	サナシオン	酪農学園大学	54.347
4位	宮川寛希	北響	北海道大学(3)	52.68
open	田中沙季	北曉	北海道大学(2)	50.941
100cmクラス障害飛越競技			減点	タイム
1位	山川智大	北曉	北海道大学(4)	0
2位	上村聡介	サナシオン	酪農学園大学	0
3位	山田杏里	駿龍	酪農学園大学	4
4位	宮川寛希	北響	北海道大学(3)	29

			減点	J.0減点	J.0タイム
100cmクラス障害飛越競技（河田杯）					
1位	村形宙哉	ディアビクサス	JRA函館競馬場	0	0
2位	阿蘇颯音	メジロゴゼン	札幌光星高等学校	0	0
3位	日置友優	サトノレオバード	JRA函館競馬場	0	4
8位	田中沙季	北響	北海道大学(2)	5	40.53

			減点	タイム	
110cmクラス障害飛越競技（岡田杯）					
1位	村形宙哉	ダテノハクトラ	JRA函館競馬場	0	67.72
2位	村下文兵	Hカイゼル	早来エクワインファーム	4	58.75
3位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	4	60.19

			減点	タイム	
120cm障害飛越競技					
1位	宮永美寿津	キングオブザロード	早来エクワインファーム	0	57.43
2位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	22	90.06

北海道二大学定期戦
於：北海道大学 5/5

			総減点	総タイム
1位	帯広畜産大学		20	208.03
2位	酪農学園大学		40	255.25
3位	北海道大学		179	120.78
			減点	タイム
田中沙季	北響	北海道大学(2)	0	40
田中沙季	北筑	北海道大学(2)	19	80.78
宮川寛希	北陽	北海道大学(3)	160 E	

第33回北海道新緑馬術大会
於：ノーザンホースパーク 5/17`19

			減点	タイム
LA part1				
1位	田神優香	ピオラ	帯広畜産大学	0
2位	加藤結	ウインマーレイ	にいかっふホロシリ乗馬ク	0
3位	川島純子	クランドールグラン	白井牧場不二ファーム	0
10位	山川智大	北曉	北海道大学(4)	4
落馬E	宮川寛希	北響	北海道大学(3)	

			減点	タイム
MD part1				
1位	山田杏里	駿龍	酪農学園大学	0
2位	山口貴也	ルジェリ	ライディングチーム・ジゴ	4
3位	加藤結	キタサンガッツ	にいかっふホロシリ乗馬ク	4
6位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	12

			減点	タイム
公認MC part1				
1位	宮永美寿津	キングオブザロード	早来エクワインファーム	0
2位	梁川正重	クラリッサ	早来エクワインファーム	4
3位	大池駿和	ザメントス	チェスナットファーム	4
6位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	28

			減点	タイム
LB part1				
1位	大山日和	柏陽	帯広畜産大学	0
2位	岡村理樹	ラッセル	ノーザンファーム	0
3位	大野晃	トウショウヴァース	酪農学園大学	0
6位	田中沙季	北琉	北海道大学(2)	0
9位	羽二生香成	北琉	北海道大学(4)	1
11位	山川智大	北陽	北海道大学(4)	4

			減点	タイム
LC part1				
1位	黒田葉月	マニアックスター	帯広畜産大学	0
2位	丸山葉摘	駿龍	酪農学園大学	0
3位	岡本優	柏岡	帯広畜産大学	0
12位	宮川寛希	北陽	北海道大学(4)	4

			減点	タイム
LA part2				
1位	鈴木愛	リベレーター	モモセライディングファーム	0
2位	山川智大	北曉	北海道大学(4)	0
3位	羽二生香成	北琉	北海道大学(4)	4
2反E	宮川寛希	北響	北海道大学(3)	
2反E	田中沙季	北琉	北海道大学(2)	

			減点	タイム
MC part2				
1位	中垣彩也香	アムールウィング	真駒内乗馬クラブ	0
2位	中垣彩也香	インパーフェクション	真駒内乗馬クラブ	4
3位	白川萌仁香	ウィコジャック	早来エクワインファーム	4
7位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	44

			減点	タイム
LB part2				
1位	村上恵祐	コスデリッチ	東海大学馬術部	0
2位	長瀬萌々子	エックスマーク	真駒内乗馬クラブ	0
3位	梁川正重	ダノンムーン	早来エクワインファーム	0

7位 山川智大 北陽 北海道大学(4) 4 71.38

ワンスター part2 最終得点率
1位 佐藤恋 柏陽 帝広畜産大学 62.246
2位 瀬之口小夏 アルフレード 帝広畜産大学 59.783
3位 黒田葉月 柏陽 帝広畜産大学 59.348
4位 山川智大 北陽 北海道大学(4) 58.913
6位 羽二生香成 北鷹 北海道大学(4) 57.029

第54回北海道春季馬術大会
於：ノーザンホースパーク 6/14~16 減点 J.0減点 J.0タイム
LA part1
1位 田神優香 ビオラ 帝広畜産大学 0 0 41.98
2位 若生五月 トーセンコックス モモセライディングファーム 0 0 43.02
3位 巨瀬利宏 チャーチル モモセライディングファーム 0 0 43.48
4位 宮川寛希 北陽 北海道大学(3) 0 0 43.53
9位 田中沙季 北陽 北海道大学(2) 0 0 48.18
15位 田中沙季 北陽 北海道大学(2) 0 8 48.03

MD 減点 J.0減点 J.0タイム
1位 山川智大 北陽 北海道大学(4) 0 4 43.88
2位 橋本雄太 一休 ノーザンファーム 0 4 47.83
3位 鈴木亜依 リベレーター モモセライディングファーム 0 12 46.43
14位 羽二生香成 北鷹 北海道大学(4) 21

MC part1 減点 タイム
1位 村下文兵 カロリースG 中村宏展舎 0 83.73
2位 村下文兵 Hカイゼル 早来エクワインファーム 8 79.58
3位 鈴木駿 モンストール JRA日高育成牧場 18 91.78
2反E 羽二生香成 北鷹 北海道大学(4)

ワンスター 最終得点率
1位 羽二生香成 北鷹 北海道大学(4) 63.623
2位 宮川寛希 北陽 北海道大学(3) 53.333
3位 田中沙季 北陽 北海道大学(2) 48.841

LA part2 減点 タイム
1位 中垣彩也香 エックスマーク 真駒内乗馬クラブ 0 70.28
2位 村上恵祐 コステリッチ 東海大学馬術部 4 64.97
3位 宮川寛希 北陽 北海道大学(3) 4 71.53

MD part2 減点 タイム
1位 鈴木重雄 リベレーター モモセライディングファーム 4 68.38
2位 加藤結 ウインマーレライ にかっふほろシリ乗馬ク 4 71.78
3位 鈴木亜依 リベレーター モモセライディングファーム 8 63.13
4位 田中沙季 北陽 北海道大学(2) 8 66.98
10位 山川智大 北陽 北海道大学(4) 16 80.98
11位 羽二生香成 北鷹 北海道大学(4) 24 69.08
2反E 宮川寛希 北陽 北海道大学(3)

第92回北日本学生馬術選手権大会
於：十和田馬術協会 7/14 最終得点率
予選IIb
1位 山川智大 ボサノバ 北海道大学(4) 58.86
2位 菅野隼人 ボサノバ 北海道大学水産学部 56.316
3位 室月蓮 ボサノバ 酪農学園大学 54.386

準決勝B 最終得点率
1位 金澤隼人 グラスキッド 東北大学 59.649
2位 岡本優 グラスキッド 帝広畜産大学 59.035
3位 佐藤典弘 グラスキッド 酪農学園大学 57.807
4位 山川智大 グラスキッド 北海道大学(4) 56.228

第56回北日本学生馬術女子選手権大会
於：十和田馬術協会 7/14 最終得点率
予選
1位 瀬ノ口小夏 ワガミチ 帝広畜産大学 61.14
2位 羽二生香成 ワガミチ 北海道大学(4) 57.807
3位 尾形満里奈 ワガミチ 福島大学 57.719
予選IA 最終得点率
1位 田神優香 ボサノバ 帝広畜産大学 65.175
2位 菊谷美咲 ボサノバ 北里大学 62.719
3位 田中沙季 ボサノバ 北海道大学(2) 60

準決勝B
1位 高田遥日 ブラネタ 岩手大学 64.474
2位 大野晃 ブラネタ 酪農学園大学 62.807
3位 羽二生香成 ブラネタ 北海道大学(4) 62.807

第65回北海道体育大会兼第73回国民体育大会馬術競技北海道ブロック大会
於：ノーザンホースパーク 7/19~21 減点 タイム
LA part1
1位 日下部孝政 柏陽 帝広畜産大学 0 59.03
2位 岡田綾美 トーセンコックス モモセライディングファーム 0 58.68
3位 和田英和 トウショウヴァース 酪農学園大学 0 60.48
18位 宮川寛希 北陽 北海道大学(3) 12 81.83

MD
1位 橋本雄太 一休 ノーザンファーム 0 62.68
2位 ビッカ JRA日高育成牧場 0 65.68
3位 梁川正重 カロリースG 中村脳神経内科クリニック 0 63.93

5位	山川智大	北曉	北海道大学(4)	4	62.02
2位E	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)		

MC	横山瞬	モナベール	ノーザンファーム	減点	タイム
1位	大林利宏	ブラネット	JRA日高育成牧場	0	59.83
2位	鈴木駿	モンスター	JRA日高育成牧場	4	60.78
3位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	4	61.23

LB part1	黒田葉月	柏楓	帝広畜産大学	減点	タイム
1位	澤本泰介	クレオパトラ	乗馬クラブチキータ	0	56.03
2位	小野瀬北馬	柏陽	帝広畜産大学	0	56.73
3位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	10	59.28
					84.73

ワンスター	田神優香	柏輪	帝広畜産大学	最終得点率	
1位	田中沙季	北鷹	北海道大学(2)	57.754	
2位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(3)	51.087	
E					

成年女子中障害S&H	白川萌仁香	ウィコジャック	早東エクワインファーム	総タイム	
1位	富永美寿津	キングオブザロード	早東エクワインファーム	63.93	
2位	中垣彩也香	アームルウィング	真駒内乗馬クラブ	65.08	
3位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	69.63	
2位E					

MD S&H	鈴木亜依	リベレーター	早東エクワインファーム	総タイム	
1位	鈴木重雄	リベレーター	モモセライディングファア	61.13	
2位	津田みや	フェアバンクスカーゴ	ノーザンファーム	64.08	
3位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	64.48	
9位				79.28	

ワンスター part2	佐藤恋	柏陽	帝広畜産大学	最終得点率	
1位	日下部孝政	柏陽	帝広畜産大学	62.174	
2位	栗本敦代	柏陽	帝広畜産大学	60.725	
3位	山川智大	北鷹	北海道大学(4)	60.362	
7位	宮川寛希	北鷹	北海道大学(3)	58.188	
11位				55.797	

第14回北海道馬術大会	於：ノーザンホースパーク	8/16`18			
1A	塚本敏一	北斗	JRA日高育成牧場	減点	1.0減点
1位	村上陽子	デリシャス	東海大学馬術部	0	1.0タイム
2位	坂口理利子	慶徳	慶応義塾大学	0	0 48.78
3位	田中沙季	北鷹	北海道大学(2)	0	0 51.94
8位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	8	2 61.17
18位					

LB part1	木村桐子	ゴールドソーサー	慶応義塾大学	減点	タイム
1位	松田知佳	慶徳	慶応義塾大学	0	52.98
2位	奥田陽貴	慶徳	慶応義塾大学	0	58.08
3位	宮川寛希	北鷹	北海道大学(3)	18	63.03
10位					93.38

ステップアップジャンピング	高倉春花	ラ・ヴァレ	ノーザンファーム	減点	タイム
1位	田中恵	イジー	ノーザンファーム	0	49.68
2位	吉山隼佑	シャイン	ノーザンファーム	0	56.53
3位	植田映喜	北汐	北海道大学(1)	0	57.63
17位	井上芽依	北汐	北海道大学(1)	0	70.38
18位				0	71.68

ワンスター	田中宏明	慶迅	慶応義塾大学	最終得点率	
1位	三浦大輝	マックス	慶応義塾大学	61.304	
2位	田中沙季	北鷹	北海道大学(2)	59.71	
3位				52.971	

1A S&H	木村桐子	ゴールドソーサー	慶応義塾大学	総タイム	
1位	村上陽子	デリシャス	東海大学馬術部	67.88	
2位	百瀬利宏	ゼンノエルブルース	モモセライディングファア	68.52	
3位	田中沙季	北鷹	北海道大学(2)	73.33	
6位	宮川寛希	北鷹	北海道大学(3)	82.38	
14位				103.05	

第55回北日本学生馬術大会	於：ノーザンホースパーク	8/29`9/1			
学生章典障害馬術競技	田神優香	柏輪	帝広畜産大学	減点	
1位	瀬之口小夏	アルフレード	帝広畜産大学	35.36	
2位	笠屋長良	柏蓮	帝広畜産大学	38.41	
3位	山川智大	北鷹	北海道大学(4)	41.67	
7位	田中沙季	北鷹	北海道大学(2)	44.71	
12位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	127.99	
失格	宮川寛希	北鷹	北海道大学(3)	38.55	
3位E				46.74	

学生章典総合馬術競技(調教審査)	田神優香	柏輪	帝広畜産大学	最終得点率	
1位	佐藤恋	柏陽	帝広畜産大学	64.637	
2位	瀬之口小夏	アルフレード	帝広畜産大学	64.058	
3位	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)	61.594	
4位	山川智大	北鷹	北海道大学(4)	61.449	
13位	宮川寛希	北鷹	北海道大学(3)	55.29	
17位	田中沙季	北鷹	北海道大学(2)	53.261	
18位				47.609	

学生章典総合馬術競技(耐久審査)				総減点	タイム
1位	田神優香	柏輪	帝広畜産大学	0	4' 29
2位	田神優香	ピオラ	帝広畜産大学	0	4' 29
3位	山川智大	北焼	北海道大学(4)	0	4' 30
12位	田中沙季	北驪	北海道大学(2)	75.6	6' 39
3反E	宮川寛希	北響	北海道大学(3)		
失格	羽二生香成	北鷹	北海道大学(4)		
学生章典総合馬術競技(余力審査)				減点	タイム
1位	木本結衣	柏玄	帝広畜産大学	0	52.78
2位	田神優香	ピオラ	帝広畜産大学	0	55.13
3位	李辰旻良	柏蓮	帝広畜産大学	4	55.18
	山川智大	北焼	北海道大学(4)	4	59.53
2反E	田中沙季	北驪	北海道大学(2)		
第58回全国七大学総合体育大会					
於：九州大学 9/7・9/8					
障害飛越競技 二班				減点	タイム
1位	宮川寛希	信玄	北海道大学(3)	4	68.02
2位	山川智大	ドリヤー	北海道大学(1)	4	65.45
	田中沙季	アイル	北海道大学(2)	0	64.21
馬場馬術競技 二班				最終得点率	
1位	山川智大	ロイヤルブレード	北海道大学(4)	57.281	
	宮川寛希	スノーホワイト	北海道大学(3)	56.053	
	田中沙季	シズキヨ	北海道大学(2)	57.632	
令和元年度山下杯・河田杯記念馬術大会					
於：酪農学園大学 9/29					
クロスバー競技 S&H				タイム	
1位	吉武翼	トウショウヴァース	酪農学園大学	52.66	
2位	坂本信仁	ボン・ダ・ジョー	北海道大学(1)	64.99	
3位	吉村匡平	テノリオ	北海道大学(1)	67.98	
4位	武井睦	ボン・ダ・ジョー	北海道大学(1)	69.40	
6位	植田咲喜	テノリオ	北海道大学(1)	79.72	
7位	駒田智美	トウショウヴァース	北海道大学(1)	91.47	
OP	宮川寛希	わっふる	北海道大学(3)	68.99	
3反E	井上芽依	リスヴェリアート	北海道大学(1)		
3反E	若林壮真	ボン・ダ・ジョー	北海道大学(1)		
3反E	北出右京	リスヴェリアート	北海道大学(1)		
ジムカーナ競技 S&H				タイム	
1位	境悠里	バルデス	酪農学園大学	76.44	
2位	佐々木若葉	パワースラッガー	北海道大学(1)	82.23	
3位	斎藤玄輝	パワースラッガー	酪農学園大学	103.52	
5位	沼田栄花	バルデス	北海道大学(1)	109.87	
ほくだいほーすしよー					
於：北海道大学 10/6					
100cmクラス障害飛越競技				減点	J.0減点 J.0タイム
1位	折居花恵	モンストール	光星高校	0	0 46.38
2位	佐藤瑞南	プライドダービー	龍谷学園高校	0	0 47.31
3位	山川智大	北焼	北海道大学(4)	0	4 43.73
80cmクラス障害飛越競技				減点	タイム
1位	中村春花	モンストール	札幌競馬場スポーツ少年団	0	58.71
2位	稲田遥	レタラカリンバ	光星高校	0	58.92
3位	宮川寛希	北焼	北海道大学(3)	0	61.68
8位	高橋春南	北鷹	北海道大学(0B)	0	66.09
60cmクラス障害飛越競技				減点	タイム
1位	岩館理沙	レタラカリンバ	札幌競馬場スポーツ少年団	0	56.51
2位	平野景湖	トウカイパラダイス	札幌競馬場スポーツ少年団	0	59.43
3位	山本直樹	北焼	酪農学園大学	0	62.85
5位	武井睦	北響	北海道大学(1)	0	65.40
8位	井上芽依	北響	北海道大学(1)	0	74.20
クロスバー障害飛越競技				減点	タイム
1位	住友英大	フアーブルトン	札幌競馬場スポーツ少年団	0	75.96
2位	北出右京	北焼	北海道大学(1)	0	73.54
3位	坂本信仁	北鷹	北海道大学(1)	0	71.82
4位	植田咲喜	北焼	北海道大学(1)	0	70.82
5位	佐々木若葉	北響	北海道大学(1)	0	69.38
8位	駒田智美	北鷹	北海道大学(1)	7	88.93
ジムカーナ競技				減点	タイム
1位	藤井良太	北驪	北海道大学(1)	0	72.22
2位	津田詩桜樹	トウカイパラダイス	札幌競馬場スポーツ少年団	2	83.55
3位	斎藤玄輝	北鷹	酪農学園大学	4	91.73
4位	佐藤音織	北響	北海道大学(1)	6	98.73
地区大会					
於：ノーザンホースパーク 10/12					
標準D				減点	タイム
1位	津田みや	フェアバンクスカーゴノーザンファーム		0	74.17
2位	本間毅名	クリスタルロゼ	静内乗馬スポーツ少年団	0	66.03
3位	津田みや	ビッグレッド	ノーザンファーム		70.28
8位	山川智大	北焼	北海道大学(4)	12	68.63
標準LA				減点	タイム J.0減点 J.0タイム

1位	中村陽樹	ラベンダー	ノーザンファーム	0	74.33		
2位	田中沙季	北陽	北海道大学(2)	0	69.73	0	62.23
3位	田中健香	柏陽	帝広畜産大学	0	67.23		

引退競走馬杯 LB				1段階目減点	タイム	2段階目減点	タイム
1位	上村駿介	サナシオン	酪農学園大学	0	35.86	0	20.77
2位	村下文兵	オーバーザリミット	早来エクワインファーム	0	38.77	0	21.43
3位	横山瞬	ラストインパクト	ノーザンファーム	0	44.37	0	22.63
13位	宮川寛希	北陽	北海道大学(3)	0	43.24	0	40.43

ビギナース60				減点	タイム
1位	荻原大紀	イジー	ノーザンファーム	0	49.28
2位	鈴木隼人	ウィーナス	ノーザンファーム	0	50.73
3位	田中晃	ラ・ヴァレ	ノーザンファーム	0	52.88
12位	宮川寛希	北陽	北海道大学(3)	0	62.63
14位	武井陸	北響	北海道大学(1)	0	63.18
15位	北出右京	北響	北海道大学(1)	0	65.88
16位	佐々木若葉	北汐	北海道大学(1)	0	69.23
20位	吉村匡平	北響	北海道大学(1)	4	77.58
25位	若林壮真	北汐	北海道大学(1)		
25位	坂本信仁	北陽	北海道大学(1)		
落馬位	駒田智美	北汐	北海道大学(1)		

スーパースラローム				タイム
1位	畠山礼	ドナルド	トアステーブル	47.33
2位	千葉琢磨	ビューテンブ	ほくせい乗馬クラブ	47.63
3位	横田咲喜	北汐	北海道大学(1)	52.53

エンジョイスラローム				タイム
1位	鈴木頼士	マチルダ	ノーザンホースパーク	67.88
2位	畠山太助	ドナルド	トアステーブル	69.78
3位	城葉月	ムスカリ	北広島乗馬クラブ	71.48
7位	長嶋もも	北響	北海道大学(1)	87.73

全日本学生馬術大会2019				クロスカントリー		障害	総減点	ポイント
於：三木ホースランドパーク 10/29~11/5				馬場減点	減点	タイム	タイム	
1位	名倉賢人	桜望	日本大学	27.1	0 4'	44	0	27.1 100
2位	瀬川裕哉	桜宝	日本大学	29.7	0 4'	53	0	29.7 90
3位	高橋義明	明風	明治大学	31	0 4'	55	0	31 85
28位	山川智大	北陽	北海道大学(4)	44	38.4 5'	46	0	82.4 21

第71回招待東日本学生馬術大会			
於：宇都宮大学 11/23			
一回戦第一試合			
1位	北海道大学	医獣医学部	
2位	北海道大学		
3位	山梨大学		

第59回日本学生馬術定期新人戦			
於：東北大学 11/23			
予選Bブロック			
吉村匡平	オリオンボーイ	北海道大学(1)	47.679
駒田智美	ラ・カスターニャ	北海道大学(1)	46.786
佐々木若葉	マイネルアンセム	北海道大学(1)	43.215

ブロック内順位3位

会計

2019 年は厳しい財政状況からのスタートとなりましたが、後援会からの支援、徹底した節約やバイトなどの部員の頑張りと、さらに会計記録方法の見直しにより、300 万円近い繰越金を作ることができました。毎月会計報告に目を通して助言をくださった井上先生をはじめとする OBOG さん、ありがとうございました。

北海道大学体育会馬術部 2019年度 収支決算書

2019年1月～12月

単位：円

項 目	予算	決算	増 減	備 考
I. 収入の部				
1. 収入の部			正は収入増	
1. 部費	980,000	982,542	2,542	
2. アルバイト	2,633,400	3,313,559	680,159	
メインフィールド	300,000	319,000	19,000	
フロンテア	160,000	319,000	159,000	
セール	887,000	1,063,500	176,500	
JRAポニー	86,400	274,150	187,750	
札幌競馬場	1,200,000	1,328,909	128,909	
その他	0	9,000	9,000	
3. 大会運営・使役	1,890,000	2,351,021	461,021	
道馬連大会使役	900,000	629,000	-271,000	
道馬連大会フレンドリー運営	750,000	562,200	-187,800	
北大主催大会	240,000	724,000	484,000	
その他	0	435,821	435,821	2018北日本選手権主幹
4. 補助金	500,000	1,052,500	552,500	
道馬連補助	0	43,800	43,800	試合馬輸送補助費
日馬連補助	500,000	698,000	198,000	飼育助成金
体育会補助	0	310,700	310,700	強化費など
5. 寄附金等収入	0	1,022,963	1,022,963	後援会1,000千円、ほか4件
6. その他収入	0	812,288	812,288	学馬連助成金 500千円、ほか
当期収入合計(A)	6,003,400	9,534,873	3,531,473	
II. 支出の部				
II. 支出の部			正は支出増	
1. 馬匹	3,581,900	3,107,785	-474,115	繁殖頭数 8頭
装蹄	921,900	620,578	-301,322	馬一頭あたり年間飼育費
飼料	980,000	1,351,183	371,183	(試合関係を除く)
乾草	810,000	798,076	-11,924	388,473
敷料	420,000	85,000	-335,000	飼料代の一部に敷料代含む
薬品治療費	450,000	252,948	-197,052	
その他	0	0	0	
2. 大会	1,360,000	1,681,460	321,460	
輸送費	1,040,000	872,738	-167,262	
大会参加費	260,000	390,722	130,722	入厩代、北日・全日エントリー一代など
大会参加・遠征補助	60,000	418,000	358,000	
3. 馬具備品消耗品費	280,000	311,622	31,622	
馬具・馬備		43,624	43,624	
砂代		147,852	147,852	
備品		46,906	46,906	
ハロー掛け		48,415	48,415	軽油代など
その他		24,825	24,825	
4. 登録費	300,000	393,296	93,296	
全日本学生会費		88,486	88,486	
日馬連登録費		181,594	181,594	
北日本学生会費		15,000	15,000	
道馬連会費		108,216	108,216	
5. その他	838,800	1,381,934	543,134	
レンタカー代	388,800	912,410	523,610	車修理代を含む
交通費	380,000	326,636	-53,364	ガソリン代など
通信費	-	41,554	41,554	
出張費	-	17,773	17,773	
その他諸雑費	70,000	83,561	13,561	新歓費補助など
当期支出合計(B)	6,360,700	6,876,097	515,397	
当期収支差額(A)-(B)	-357,300	2,658,776		
前期繰越金	290,132	290,132		
次期繰越金	-67,168	2,948,908		

調教報告

北騮号

田中沙季

私は昨年度(2019年)の5月ごろから北騮(アヒル)のチーフとなり、北日出場を目指して練習してきました。結果としては、北日の総合へ出場させていただき、クロスカントリー完走はできましたが、余力審査で2反抗失権となってしまいました。馬の能力は十分ありましたが、人の力不足と詰め甘さが原因で完走とはならず、嬉しくも悔しさの残る結果となりました。未経験者の2年生が北日に出させてもらえたこと、それに向けて根気強く指導してくださった先輩方には感謝しかありません。

(馬体管理について)

アヒルは一昨年の秋ごろに裂蹄となってしまった右前の爪が伸びず、まともに運動できなかったため、冬の間は主に羽二生さんが乗って調整してくださいました。この右前足にはシーズン中もかなり悩まれ、装蹄師の方とも相談しながら爪のケアは常に気を使ってきました。適度に蹄油を塗ったり、蹄冠にクリームを塗ったり、爪の伸びを良くするサプリを入れたり、そのサプリの吸収を良くするために整腸剤を入れたり…それでも爪がボロボロになりやすく落鉄を繰り返していましたが、なんとかシーズンを終えることができました。

アヒルは爪が伸びにくく故障しやすい爪質で、少しの異変も見逃さないように日々の手入れで気を使っていく必要があります。馬術は馬あってこそスポーツなので、人の練習や調教よりもまず馬体の健康を最優先にすることが大切だと学びました。

(練習内容について)

アヒルは一昨年大木さんが乗って全日の総合・二走ともに権利を獲得しており、馬の能力的には北大の中でトップレベルです。そのため私が馬へ教えられることはほとんど無く、その能力を引き出せるように、ひたすら人の練習を行ってきました。練習内容は羽二生さんが考えてくださっていて、私はその1つ1つの目的などを深く考えずにきってしまったため詳しいことは書けませんが、どんな練習をしていたか覚えている範囲で書いていきます。

まず一番の課題はすぐに馬が走ってしまうことでした。障害を飛んだあと戻すのが難しく、頭を振って止まらなくなります。人の技術的にも馬をゆっくりとしたペースに維持して経路走行するのは難しかったため、ある程度走った中でもそれについていきコントロールする練習をしました。そのために大切なのは騎座と体幹のトレーニングだったと思います。鑑上げや正反撞、横木通過で歩度の詰め伸ばしをする練習などを行いました。鑑上げは人馬共に大変な練習ですが、良いバランスで乗ることを短期間で習得するためには効果的だと思います。また、気を抜くとすぐ力を入れず楽に乗ってしまっていたので、お腹と背中に力を入れて腰を前に、肩を後ろにして乗るよう意識しました。普段の姿勢を変えることで体幹が鍛えられ、踏ん張って馬をコントロールできるようになりました。

さらに、私は高い障害を飛んだ経験が少なかったため、110cm ある障害でもしっかり鐙を踏んで随伴できるよう、コンビネーションやバウンスを使って練習しました。体が前のめりになりすぎないように、膝から下がブレないように姿勢を意識して行いました。

アヒルは試合になるとやはり興奮して止まらなかったですが、障害へのとても前向きな気持ちのおかげもあり、ノーザンの試合では

春季：LA 減点 0、MD 減点 8（2 落下）

道大会：LA 減点 0

という結果を残すことができました。足への不安があったため試合に出た回数は多くありませんでしたが、未熟者の私にすばらしい経験をさせてくれました。

（最後に）

未経験者の 2 年生である私と、北大のエースであるアヒルという実力差のありすぎるコンビでしたが、アヒルは本当にたくさんのことを教えてくれて、いろんな経験をさせてくれて、このシーズンを通して私自身大きく成長できました。本当にかわいくて勇敢で頑張り屋で素晴らしい馬です。大好きです。

今シーズンも引き続きアヒルに乗らせていただきます。今年こそは北日完走、そして全日出場を目指して頑張っていくので、これからも応援のほどよろしくお願いいたします。

北鷹号

羽二生香成

3 月から 8 月までの、目標とトレーニング内容

3 月

問題点 後躯から循環できない

トレーニング内容

- 1 内方ベンド、下方へ逃げ場→リラックス
- 2 後躯からの推進力を前に通す

内方脚→後ろを呼ぶ→馬の中にためる→リズムを馬が作る
を目標にした。

・基本的な FW

まずは、駈歩で後躯の可動域を広げたい。

輪乗りで後肢が前肢より外にはみ出るように。後肢をはみ出るようにすると、そのうち肩も逃げてこようとする。そうなったら、その中で、内に向けて、前から肩が内に倒れるように。この時、内方脚と外手綱で後躯の支配→馬が前に出ようとすれば OK

本当はまっすぐ受け止めたいが、そうするとシュガーの場合萎えるから、逃げ場を確保しながら。

3 月～4 月

・輪乗り飛越

輪乗りの中で、馬の姿勢を整えながら、低めの障害を飛越。横木から始めて、高さ 80 c m 幅 120 c m くらいまで。

この中で、上記のFWで意識することを意識。飛越時に、背中が動くように。馬自ら体を使う状況をつくる。フレームが長くなるように。

→これができるようになってきたら、低いコースで同じことをする。

どのトレーニングをするにあたって、自分はポジション前で近くで馬を受け止める。

・コンビネーション

| X 2.8 I 5.4 I 6.0 II 9.0 I 6.3 II

9.0の前後のオクサーと垂直に高さをつける。

110より高さをあげる時は6.0→6.5 9.0→11.0 6.3→6.5にする。

このコンビネーションで130くらいまで。

人がついていけないと危険なので、北海道大学ではやらない方がいいかもしれない。

輪乗り飛越と並行してコンビネーションをやっていった、筋肉をつけていった。これができるようになって、120cmでのコースを行った。

5月

週の中で、高さをつける日、輪乗り飛越の日、を1日ずつ、それ以外はFWをしっかり行った。このころから、きついFWやコースをやって高度なことを求めると、硬直してくることができた。

6月

輪乗り飛越やコース、FWは、だいたいこなせるようになってきた。

でも、運動が長く続くと、途中でやらなくなったり、硬直したり。疲れてくると、そういうところをみせるため、わざと1時間くらい長く運動して、体力をつけるようにメニューを考えた。筋肉的な負荷をこれまでかけてきたが、シュガーにはそれに加えて精神的な負荷も必要だとわかった。

7月

さらに体を柔軟に使えるようにするため、キャバレッティ1.7~1.8で置き、レッグイールディング→キャバレッティ通過を行った。

頭を突き上げて走ると、背中をそって、緊張するので、ハミにでた中で、走れるようにトレーニングを始めた。

週の中で、1日は、クロスカントリーを意識して、バンケットを入れて、馬場を5分間走り続けるトレーニングを行った。だんだんと、頭を突き上げずに、走れるようになっていった。それでも、何分か走って、疲れてくると、硬直することがあった。硬直したときの対処法を見つけなさいと言われていたが、硬直すると、どうにもならないのが常であった。

以上が行ったトレーニング

結果として、シュガーのメンタルをどうにかすることはできず、コースになると緊張して体が使えなくなるのも、あまり変わらなかった。

私が求めたことが、シュガーには合っていなかったのと、私自身の成長が足りなかった。1年生の時から4年間乗せてもらったので、最初からもっと真面目に、1日1日を大切に乘っていたら、もっとよくなったかもしれないと思うと、悔やまれる。

この最後の1年で、シュガーから学んだがことは、本当にたくさんあるので、これからシュガーに乗っていく人たちは、繊細なシュガーから他の馬では学べない、繊細なことを学んでほしい。

北響号

宮川寛希

私は、2018年9月からの1年間カノンコードで北日を目指しチーフとして担当させていただきました。カノンコードは、北大にきた当初から左後肢の球節部分に浮腫があり、繋の可動域が狭くなり、びっこを引くこともあり、北日までどうコンディションを維持していくか、あまり負荷をかけずに動かしていくことを考えておりました。カノンコードは、下級生でもある程度は簡単に動かせる馬ではあるものの、前のめりになりやすく、後肢から動かすというところに難しさがありました。障害には自分から進んで飛んでくれるものの、ストライドが小さく飛越時にバランスを崩しやすいといったこともありました。

これらのために、まずおこなっていたことは間3mで3本の横木通過です。カノンコードは3mの横木通過でも、ある程度動いていないとスムーズに跨げません。また幅を広げすぎると、馬がバランスを崩し必要以上に頑張ってしまうため、3mの横木通過ができるようになった後は、真ん中の横木を60cmまで上げておこないました。だけでも、このような運動だけでは、馬が直線を向いたときに勢いよく走ってしまうだけで馬と人との関係は不十分でありました。そのような状況で、シーズンに突入し悩んでいた際、柘植和也さんに「動ける馬は、ピタッと止まることができ、発進も明確である。」との言葉をいただき、とにかく馬を前に出すこと、止めることを妥協せずにやっていくことを意識しました。そして、その中でシンプルチェンジや反対駆歩を取り入れ、後肢を踏み込みと馬がハミに食いついてくる運動をしておりました。その結果として、北大の馬場では馬との良好な関係を築きいい運動ができていたと思います。

北日は、ノーザンについた時から馬の様子が普段の練習や試合の時と異なり常にテンションの高い状態が続き、自分もそのようなカノンコードをコントロールすることができないままで終わってしまいました。どのような状況でも落ち着いて運動することを、普段の練習や大会でもっと考え、準備しておかなくてははいけませんでした。

最後になりますが、私は1年生の時からカノンコードで北日に出たいとずっと思っていて、残念な結果ではありましたがこのようにきちんと馬体管理をして、自分で運動を考えながら出場できたことは、私にとってとても大きな経験となりました。この大きな経験をもとに残りの馬術部生活も成長していきます。自分のことを大切に見守り、たくさんのご指導をくださった1つ上の先輩の方々ならびに、親身に相談に乗ってくださった杉田姉を始めOBの方々はこの場を借りて感謝申し上げます。

北汐号

佐々木若菜

去年はベイスンには基本的に1年生が練習、試合でたくさん乗りました。そのため、シーズン終盤の秋には痩せていることと、左後ろ脚のむくみが気になっていました。脚のむくみはあまりかたくなく、運動するとひくというものでした。引き馬で頭の振りを確認すると、いつも左右で振れ幅が異なっていました。冬になり運動量が減ると症状は落ち着き、今は毎日2、3鞍歩様に問題なく練習しています。部班を行うと、前の馬にとにかくついて行こうとし、隅角を内へ入ろうとする傾向が強いです。手綱を少し強く持ち、前へ出すことで少しは指示を伝え、改善することができます。元気よく動かそうとすると、前脚のみで頑張る傾向があるので、それに対しても同様のことに気をつけて乗りました。ベイスンは人のバランスや動きによらず、基本的な湾曲や歩動の指示には従ってくれます。

ベイスンは基本的におっとりした雰囲気です。眠そうにしていることが多いです。その一方で、ひとたび気に入らないことがあると、一瞬で反応します。他の馬にも敏感で、去年は1度ノーザンの障害競技の大会で入場する際にすれ違った馬に反応し、落馬および失権になるということがありました。

健康面に関しては、冒頭の左後ろ脚のことのほかに大きな問題は特にありませんでした。夏は顔にたくさん傷をつくり、冬の始めには馬着のせいと考えられる湿疹がで、最近左脚のきゅうせつ下に傷をつくりましたが、それぞれ適切な処置のもと大事には至らず、安定した状態を保っています。

今年も練習馬ゆえの過労に注意し、さまざまな運動に取り組んでいく予定です。

北稜号

羽二生香成

3月から8月までの、目標とトレーニング内容

3月～5月

昨シーズンの裂蹄が響き、運動できず。

6月

ずっと休んでいたせいもあり、体が固まっている。横運動を徹底的に行った。

右の腰角から飛節→蹄が屈伸しない。

1.7のキャバレッティでほぐす。

反対駈歩→シンプルチェンジをスムーズに行う。後ろを屈伸させるためと、反応をよくするため。

後半から100cmくらいの低めのコースを始めた。

高いクロスで輪乗り飛越→飛越時のボディバランスを整えるため

7月～8月

バウンスで110cmくらいまで。体を使えるようにするのと、素早くさばけるようにする。

シュガーがやっていたコンビネーションも始めた。

FWでは、後ろの回転数をあげて、馬が受け入れること、いい駈歩をつくること、をやった。いい駈歩が作れるようになると、いい飛びをするが、試合になってアリーナに入ると、緊張して、いい駈歩をつくることができなくなる。

北大の馬場では130cmのコースも、落とさずにこなせるが、試合にいくと全然変わってしまう。結果として、私がいい駆歩を作れずに、走るだけで乗ろうとした6月の試合での失敗が、後を引き、嫌なイメージを払拭できないまま、おわってしまった。

高度なことをやろうとするならば、それを貫かなければならなかったし、私自身ももっと成長しなければならなかった。今シーズンになって、いいFWのイメージがわかって、アンチョができる最大限のパフォーマンスを目にしてしまい、昨シーズンまでのように、ただ走っているだけでは、もったいないと思った。アンチョに乗せてもらって、私自身の技術は、とても成長したが、結果が出せず、また、北海道大学ではどうにもならないレベルにしてしまったこと、本当に申し訳なく思う。

また、アンチョには、体の問題もあり、それに付き合っていくのは、北海道大学ではとても大変なことだと思う。アンチョの能力を無駄にしないようにして行ってほしい。

北暁号

山川智大

ノーステアは緊張と硬さ、そして運動に対する消極性が課題でした。それを解決するのか、どう向き合うのかを考え続けた一年でした。いろいろな問題を抱えた馬ではありましたが、その能力の高さに驚かされることも多く、ノーステアに乗れたことを誇りに思っています。

三年の秋に代替わりを迎えてノーステアを先輩から受け継ぎ、まず取り組んだのは「柔軟性の獲得」でした。9月にJRAの布施さんに教えていただいたことを参考にしながら冬の間中、柔軟にハミを受けて運動することをひたすら目指しました。具体的にはハミを受けた状態で手前変換、直径10mぐらいの蛇乗り、斜め横足などをやる時間を長く取りました。左右差の改善のため左の小さい巻き乗りを長時間やったりもしました。冬にやったことは総じてかなり上手くいきシーズン終了時まで自分とノーステアのフラットワークの基礎になったので、今思えばこの冬のことが最終的な成績につながったのかもしれないと思っています。

春になると、今まで問題視していなかった運動に対する消極性が表面化しました。冬の間は雪のおかげでテンションが上がっていたからなのか、冬の間馬にとって苦しい運動をやり続けたからなのかはわかりませんが、春から運動開始からまともに動くようになるまで時間がかかるようになりました。もともとそういう傾向があるのは知っていましたが、経験したことはなかったので対応するにはかなり時間がかかりました。これに対しては運動のはじめに走らせたり、コンタクトを取らずにとにかく前に出す指示への反応を確かめたりすることで対応しました。

春から数カ月は、障害に関しても緊張なく柔軟な飛越を目指してトレーニングも行いました。具体的には輪乗りで低い障害を飛び続けたり、折り返しを使って頭頸を低く保ったまま障害練習をやったりしました。うまくいっているように思える時もありましたが、試合になればあまり変わらず、柔軟性は無くて障害に対する前向きさや注意力には素晴らしいものがあつたのでそれを尊重することにしました。特に障害に関しては今まで先輩が積み上げてきたものや馬のポテンシャルがあつたので失敗や苦勞をすることも少なかったように思います。

以上のようなトレーニングの結果、全日本学生総合では個人28位という結果になりました。人

のミスがあってこの順位になったので、乗る人次第では個人入賞も十分に狙えるポテンシャルを持った馬だと僕は思っています。今年の全日本学生出場に終わらずノーステアが今後も北大馬術部をくれることを願っています。

北琉号

須藤美瑛奈

ドラゴンケーニッヒの調教は当初私が担当する予定でしたが、自分の実力不足や今後の引継ぎ、後輩の経験を考慮し、私ではなく後輩が中心に乗っていくことになりました。調教に関する指示も羽二生が出していたため、調教に関してここに記すことはできません。ここでは状況報告のみさせていただきます。

5月5日 三大学定期戦 貸与馬として100cm以下のコースを走行

5月17～19日 新緑馬術大会 1日目LB田中 減点0 タイム64' 08 入賞 2日目LA田中 2反E

6月14～16日春 季馬術大会 1日目LA宮川 減点0 タイム57' 98 2日目MD 2反E

歩様の悪い時期も多く、試合に多くは出られませんでした。LAを走行する能力は持っています。飛ぶことに対しては基本的に前向きですが、曲がりづらくコントロールが難しかったり、一度わがままを許すと制御が効かなくなったり、下級生の騎乗に不向きな点がいくつかあります。

北陽号

宮川寛希

私は、2019年5月からの1年間羽二生姉、山川兄の指導の元ノガロに乗らせていただきました。ノガロは、北大に入厩してからの最初の1年間で井畔兄の元、北大でのLAクラスまでの完走はしていましたが、LAよりも高いクラスに出場するためには乗り越えなくてはいけない課題がありました。回転で体を外に張り内側に倒れこむ、ハミを受け入れず下へ下へと潜ってくる、オクサー障害への抵抗といった、LAよりも高いクラスに出場するためには乗り越えなくてはいけない課題がありました。それらを解決するために、私は主に2つのことに注意して運動していました。

まず、取り組んだのは下への潜りの対処でした。ノガロは手綱を持つと、頭を下げハミを受けているような形をとることがありますが、実際にはハミを空にして逃げているといったことがありました。そのため、できるだけ頭は高い位置で、潜ってきたらすぐ上にあげるということを繰り返す、馬が人との引っ張り合いをしなくてもバランスを保ってもらうように心がけました。その中で、常に引っ張ったままだと頭の重い馬になってしまうので、手綱の使い過ぎに注意し、使ったら赦すということも繰り返しおこないました。その結果として、このシーズンでは障害への積極性を養うことができたと思います。既に飛べる高さの障害であれば、野外障害のような初めて見るような障害であっても、自分から進んで積極的に飛んでくれることが確認できました。

もう一つ取り組んだのは、反応の確認です。ノガロは、とても扶助に軽く駈歩発進も外方の脚をほんの少し後ろに引いただけで、一年生でも簡単にすることができる馬です。けども、ある

程度のペース以上には元気良くならなかったり、一度嫌になるスイッチが入ってしまうと人の扶助を全く聞かなくなるような馬でした。その原因は、人の扶助に対して馬が頑張ってくれているのにも関わらず要求しすぎていることと、人の扶助に対して馬が明確な反応を示していないのにも関わらず人が要求をやめてしまっていること、で人と馬との関係が難しくなっているものだと考えました。そこで、取り組んでいたのは幅 21m の横木通過です。これを 6 歩, 7 歩, 5 歩で軽いコンタクトとシートでおこなっていききました。6 歩, 7 歩がスムーズにできるようになると 21m の横木通過を直線上のもう一つつなげ 2 つの 21m を同じペースでいけるように、また横木をブロックを使って 20cm 浮かせた状態での横木通過をおこないました。単純な練習ではありましたが、反応の確認だけではなく踏切を合わせることやペースコントロールの練習にもつながったと思います。

今シーズンは、あまり難しいことはせずこのような基本的な練習で少しずつではありましたが、馬のプラスになるようなことができたと思います。基本的なことの積み重ねのおかげで、8 月の道大会での野外馴致では水壕やバンケットも含め、あまり高くない障害であればスムーズに飛越することができ野外障害への適性の高さもうかがえました。ノガロは、プライド、自分の意思が強いことがあります。それは頭がよく注意力があり、物怖しないといった強みにもつながっています。ただでもその分、人の過度な要求に対しては、今までできていたことでさえもある時は反抗することがあります。これからノガロに乗る人たちは、自分のやりたいことを押さえつけすぎずノガロの気持ちを大事にしながらレベルアップして欲しいと思いました。自分が担当している間では、回転特に馬場の入り口から奥側への右手前での障害物へのアプローチに抵抗があったので、引き続き回転に注意して調教を進めてもらえたらと思います。北日、全日でこれから活躍することを願っています。

北水報告

戦績

第 47 回半澤杯記念馬術大会

80cm クラス 小池杯

熊倉大騎(4 年) ディアビクス号 58.53 秒 4 位入賞

ジムカーナ

桑原朋(4 年) スペースクルーズ号 77.18 秒 1 位

永井優里(4 年) スペースクルーズ号 103.82 秒 2 位

第 91 回北日本学生馬術選手権大会

予選

菅野隼人(4 年) ボサノバ号 56.316% 2 位

準決勝

菅野隼人(4 年) 生月号 56.316% 3 位敗退

第 33 回北海道秋季馬術大会

第 1 競技標準 LA 課目

菅野隼人(4 年) ディアビクス号 減点 0 68.98 秒 ジャンプオフ 減点 20 74.87 秒 4 位入賞

第 12 競技ステップアップジャンピング

永井優里(4 年) ディアビクス号 減点 4 68.28 秒 15 位

北水馬術部だより

北水馬術部 佐藤風沙 (3 年)

札幌のみなさん、お元気ですか。部長となりました佐藤風沙です。本学馬術部を離れて 1 年が経ったのか、としみじみしているこの頃です。現在、北水馬術部は、3 年生 2 人、4 年生 4 人の計 6 人で、基本的には土日祝に活動しています。といっても、研究が忙しかったり、兼部していたりで、今年度後半は 1 人で練習に参加する日がほとんどだった気がします。しかし、函館競馬場のみなさんが、温かく迎え入れてくださるので、のびのびと函館での馬術部生活を楽しんでおります。自分の都合がつくときに練習に参加できるという、大学馬術部の中では、一番なのではないかと思うくらい良い環境であるにも関わらず、毎年部員集めには苦戦しているようです。この主な理由は、活動場所が函館競馬場と、大学から離れた距離（片道 6km ほど）

にあるためと考えられます。そもそも部の存在を認識していない人が多いようです。また、函館キャンパスにいる学生は3年生以上の上級生なので、授業や研究が忙しく、放課後に気軽に参加できる、学内が活動場所の部活の方が、人気があるようです。本学馬術部のように、部員数が確保できないと成り立たないというわけではないのですが、今年のように、部員が最終学年に偏ると寂しいことになるので、毎年、2人くらいは必ず入部してもらえよう、部員の原石探しを頑張ります。ここからは、今年度の北水馬術部の活動を振り返ります。半澤杯には、函館に来てから馬術を始めた部員を含め、4年生全員が出場しました。昨年度に引き続き、北日選手権には、菅野兄が出場しました。今年度は、スケジュールが合わず、道外で行われる交流試合に参加できなかったのが残念です。ノーザンホースパークで行われた北海道秋季馬術大会にも、菅野兄と函館からの部員が出場し、今年は特に、技術の向上に熱心に取り組む部員が多かったと思われます。私自身は、大会に出場することはありませんでしたが、試合に向けての練習に取り組む先輩方を見て、再び試合に出たいと思うようになりました。（機会があったら、また、宮川君と試合に出たいです。）北水馬術部と本学馬術部が直接関わることはほぼありませんが、個人的には、同期の宮川主将と定期的に連絡を取り合っており、本学馬術部の愉快的な状況を聞くのが、月一の楽しみとなっています。同期こそいなくなってしまったものの、宮川君は、元気で優しい後輩たちと、毎日、ギリギリ楽しく部活を頑張っているようです。札幌に訪れた際、後輩や馬の様子を覗いてみたのですが、今までにない、明るく穏やかな雰囲気を感じられました。人馬どちらにとっても居心地の良い部活になったのでしょうか。相変わらず半べそで電話をかけてくるときもありますが、残り半年ほど、後輩のため、馬のため、最後は自分自身のために頑張ってくださいね。後輩のみなさん、宮川君を引き続き、よろしく願いいたします。総理の方々、進学先を迷ったら、ぜひ、水産学部へ。授業も、部活も、北大で一番楽しいよ。

卒部にあたって

山川智大（馬匹）

卒部にあたって部活動生活を振り返ると、本当に多くの経験をさせてもらった4年間だったと感じています。OBや先輩の方々、同期、後輩、そして馬たちに感謝しています。

馬に関しては多くの馬との出会いと別れを経験しました。担当した馬ではチェルシー、サクラロミオ、メイショウウズシオ、サクラスペリオールの4頭が、離厩してきました。実力を発揮させてあげられなかった、もしくは足が悪くなってしまったことを理由に離厩していった馬ですが、どの馬と関わったことも自分にとって大切なことだったと最後の年にノーステアに乗っていて感じました。

部活動運営でも例年にはないことを経験しました。代替わり直後の台風と地震、財政難です。地震の際にはメインフィールドにお世話になり、財政難の際にも後援会に関わる多くのOBの方々の助けがありなんとか切り抜けることができました。自分たちだけでは解決できない問題があること、周りの多くの人の支えがあって馬術部が成り立っていることを強く感じた出来事でした。

そのほかにも楽しかったことや辛かったこと、悔しかったことがたくさんありますが、この4年間の教訓として思うのは、どんなこともそれを生かせなければただの思い出で「経験や糧」ではないということです。後輩のみんなはこれからたくさんのことに会おうと思いますが、その中で辛いことや悔しいこともたくさんあると思います。そのたびにただそれを苦しい、辛いで終わらせてしまえばただの思い出になってしまいます。後輩のみんなには出会った出来事、特に悔しいことは生かすことができるように努力したり考えたりして、その出来事を「経験や糧」として欲しいと思います。

須藤美瑛奈（主務・会計・運営）

私は小さい頃から馬が好きで、大学生になったら馬術部に入ろうと昔から思っていました。初めて馬場を訪れ馬に乗っている様子を見た時は迫力に圧倒されたのを覚えています。長年憧れていた馬と過ごす日々はとても楽しいものであったのと同時に、生き物を扱うということの大変さを知りました。毎日の作業・当番やバイト、大会など、想像していた以上に多くの時間を部活に捧げることになりました。馬尽くめの毎日でしたが、ここでしかできない経験がたくさんありました。今となっては良い思い出です。

一方で、スポーツを本格的にやった経験が無かった私は、馬に乗るということに関して正直なところ消極的でした。しかし、どんどん同期が減っていき、部活に貢献するためには自分も選手にならなければいけないのだと思うようになりました。運動は苦手でしたが、合宿に参加したり休日に乗馬クラブに教えて頂きに行ったり毎日記録をつけたり、自分なりに努力をしました。でもやはり、人前に出るのが苦手なこともあって、一人で試合に出てコースを回るのが嫌で

仕方なく、いつも緊張で経路中の記憶はありませんでした。努力はしたけれど、いつも心の底には選手をやりたいくないという気持ちは変わらずにありました。3年生の秋の代替わりの時、誰が次にカノンコードに乗るかという話になり、後輩の宮川がカノンコードに乗りたいという気持ちを強く述べているのを見て、やっと自分も試合に出たくないという本音を述べることができ、私はサポート側に回ることになりました。様々な葛藤の中で、苦手なことでも自分のできる限りで取り組むことができたのは自信になりました。どうしてもこの部活は、選手になる人とそうでない人が出てきます。しかし、選手だけでは成り立たない部活であることも確かであり、互いを尊重し合うことが何よりも大切です。

また、サポート側に回ってからも、たくさん学ぶことができました。4年の頃には人数の関係もあり主務・会計・運営の3つの役職を任されることになりました。主務では書類の提出など、地味ではありましたが部活にとってとても重大な仕事をこなし、裏で支えることの大切さを実感しました。会計では、かなり杜撰になっていた部活の財政管理の仕組みを手探り状態ではありながらもなんとか改めることができ、今後の部活の運営に貢献できたように思います。大会の運営では、大会前の準備から当日まで多くの仕事がありますが、今年は後輩たちが積極的に仕事を手伝ってくれてとても助かりました。北日のノーザン開催やトライアルの実施も含めたくさんの大会がありましたが、頼れる後輩たちの力を借りながら大きなトラブルもなく無事に乗り切ることができました。

つらいことはたくさんありましたが、私が部活を続けられたのは、馬たちはもちろんですが、部員の存在というのも大きかったように思います。あくまで私の感覚ですが、先輩、後輩含めみんないい人たちばかりで、みんなが頑張っているから私も頑張ろうと思うことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。あと2年間は札幌に残るので、これからもできる範囲で応援していきたいと思います。

菅野隼人（北水・馬四）

馬術部はとてもへんな部活だと思う。「何か部活かサークルやってるの？」と聞かれて、「馬術部に入っています」と応えても、そもそも「ばじゅつ」という言葉が認識されないことも少なくない。運動部なのだが、運動部だと理解されにくく、仕舞いには、「馬に乗ってるだけでしょ？」なんて言われたりする。実際に私も、このへんな部活に入るまで、「ばじゅつ」を理解しておらず、映画やドラマで描かれるような優雅な某を想像し、半ば騙されるような形で馬術部に入部した。

ところが、実際に入部してみれば、馬に乗る時間よりも馬に乗らない時間の方が圧倒的に多い。糞にまみれて馬房を掃除し、水の入った重たいバケツや、ワラの麦稈やロールを運ぶ。朝昼夕夜の当番に、夕方の手入れも行う。馬の飯代を稼ぐために土日はバイトをし、長期休暇も馬の世話があるからと、ろくに帰省も出来ない。なるほど、馬術っていうのはつまり馬の世話のことか、などと思っても間違いではないのかもしれない。

馬に乗る時間は少ない。だけど馬に乗るのは楽しいから、できるだけ長く乗っていたい。じゃあ、どうすれば良いのか。答えは簡単だ。上手くなれば良いのだ。上手くなれば、運動を任される機会も増えるし、試合に出る機会も増える。しかし、上手くなるのは簡単なことではない。馬に乗って下手なことをすれば、乗っても馬のためにならないからと、乗鞍は減らされる。乗って

も馬のためにならないかもしれないけど、乗った方が馬のことがわかる気がする。そんな矛盾を抱えて試行錯誤をしているうちに、馬のためになるように乗りたいと思うようになる。「ばじゅつ」を始めて4年が経つが、未だに馬のためになる乗り方はよく分からない。でも、確実に乗馬の技術は向上した。と、同時に、馬に乗らない時間も、馬のことばかり考えていたことを思い出す。馬術ってというのは実に奥が深い…。

私は馬という生き物が好きだ。力強く格好良いし、なにしろ、かわいい。馬のお世話をし、かわいがることは、馬術部として重要なことだろう。だけど、それだけでは、私は馬術部を続けられなかった気がする。私は馬が好きなのと同じくらい、馬に乗ることが好きだから、今こうして、卒部を迎えられたのだと思う。

熊倉 大騎（北水）

札幌に2年そして函館で1年半活動してきました。これを読むであろう後輩は私のことを知らない人も多いと思います。私は他の同期とは異なり、あまり試合には出場していませんでした。その分、作業などの業務および馬責としてスペとノガロの面倒を見ていました。札幌にいた2年間は正直に申し上げますと大変なことの方が多かったです。おそらく自分の周囲からしたら、「その程度で辛いとか、私たちの方がもっと大変だった。」とおっしゃることでしょう。ですが、人間には精神的にくる閾値が違いますので、自分のレベルではこの感想です。しかしながら、その中でもスペやノガロと接している瞬間や同期・後輩とご飯に行ったり、何気ない会話が楽しかったのも事実です。そして、そこら辺の大学生では体験できないようなこともいろいろ出来たので、後になってみれば多くを経験出来て身になる時間だったと思います。函館では乗馬センターの先生にとってもよくしていただき、試合に出場するなど非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

私は同期と比べて上手くもなく、そして水産で2年間という短い期間だったため、どちらかといえばサポート側についていました。この立場は何かと大変なことが多いと思います。ですが、必ずその働きを見てくれる人はいます。今後、(ないことを期待しますが)このような立場の人にはつぶれない程度に肩の力を抜きながら取り組んでほしいです。

最後に、後輩に向けて2つ記そうと思います。1つ目は、馬術部において最も大切なものは馬ではなく人ということです。もちろん、馬がいなければ部活そのものがないのは事実です。しかしながら、その馬を毎日運動させ、世話をするのは紛れもなく我々です。特に横のつながり(同期)を大事にしてほしいです。”ともだち”よりもむしろ”戦友”として接してほしいです。そして、縦のつながりに関しては後輩を思いやれるような環境になってほしいです。ただ馬術を教える人がけっして良い先輩ではありません。人の思いを組めるような、そして自身が後輩だった場合に、ついていきたくなるような先輩になってほしいです。2つ目は、部活動だけが全てではないということです。「北大に馬術をするために入学した」という人は思う存分馬術をすればいいと思います。ですがこれはごく少数で、実際には北大に入って初めて馬術を知った人が大半だと思います。何のために大学に入学したかを改めて考えてほしいです。そして、例えばその事柄と部活動を天秤にかけた時、部活動に傾いたら、(留年しない程度に)部活動に取り組んでほしいです。一方で、そうではない場合は(部員に迷惑をかけない範囲で)部活動と折り合いつけながら、

さまざまなことに取り組んでほしいです。

現役名簿

	氏名	学部	役職
3年目	宮川寛希	工	主将
2年目	内山溪	理	主務・運営
	田中沙季	農	副将・運営
	伴日向子	獣医	馬匹・運営
	森翠	薬	会計・運営
1年目	石田隆悟	総合理系	運営
	井上芽依	医	運営
	植田咲喜	獣医	馬匹
	北出右京	総合理系	作業・箱番長
	駒田智美	獣医	運営
	坂本信仁	総合理系	馬匹・飼料
	佐々木若菜	総合理系	運営
	佐藤香織	総合理系	作業
	関貴生	教育	作業
	曾和裕稀	農	馬匹
	武井陸	総合理系	運営
	長嶋もも	総合理系	作業
	沼田栄花	獣医	馬匹
	早貸虎之介	総合理系	作業
	藤村良汰	総合理系	作業
	安田理紗	獣医	会計
	山中竜馬	総合理系	作業
	吉村匡平	総合理系	馬匹
	若林壮真	文	会計
ネコ	わさび		
	ぼんず		

編集後記

まず、部報の発行が大変遅くなったことをお詫び申し上げます。例年の部報に比べ内容に欠けているところがあるかと思いますが、発行をすることを優先し集まっている原稿のみで編集させていただきました。2020 年度の部報も近々発行予定です。新たなメンバーも加わり活気あふれる馬術部の様子をお届けしようと只今作成中ですので、楽しみにお待ちください。

2020 年 10 月 31 日